

舟状海盆とトラフの用語の使い方について

評価文中における「舟状海盆」と「トラフ」の使い方は以下の整理とする。

1. 地震本部の用語集の「トラフ」では、「舟状海盆ともいいます」と記載しており、どちらも使用可能と考えている。
2. 学術分野や英語ではトラフが使用されている。海上保安庁においても、〇〇舟状海盆の **feature name** は〇〇Trough となっている。
3. 評価文（図表含む）に用いられる地名については海上保安庁の地名に基づき〇〇舟状海盆とし、地図上では〇〇舟状海盆（〇〇トラフ）と併記する。文章中では、初出では文初出では「〇〇舟状海盆（〇〇トラフ）」とし、2 回目以降は「〇〇トラフ」を使用する。ただし、文献からの文章の引用で「〇〇トラフ」との記載はそのままとする。
4. 活断層名・構造名については1、2 から「〇〇トラフ」とする。その解説（例えば付表 3-1）において、地名としての舟状海盆を使用する場合は、3.に倣う。